

第5回 那覇空港調査連絡調整会議 議事概要

- 1 日 時 平成17年6月3日(金) 14:30~16:45
- 2 場 所 かりゆしアーバンリゾート那覇 6階 シェルホール

3 出席者

(1) 委員

| | |
|------------------|-------|
| 内閣府沖縄総合事務局開発建設部長 | 佐藤 浩孝 |
| 国土交通省大阪航空局飛行場部長 | 松本 清次 |
| 沖縄県企画部長 | 上原 良幸 |

(2) 内閣府沖縄振興局からの参加

| | |
|-------------------|------|
| 内閣府沖縄振興局振興第三担当参事官 | 堀川 洋 |
|-------------------|------|

(3) 国土交通省航空局からの参加

| | |
|------------------------|--------|
| 国土交通省航空局飛行場部計画課空港計画企画官 | 村山 伊知郎 |
|------------------------|--------|

4 次 第

(1) 開会

(2) 出席者紹介

(3) 議事

議事1 那覇空港調査連絡調整会議の開催要領の改正(案)について
<資料1>

事務局より、沖縄県及び沖縄総合事務局の組織改正に伴う開催要領の改正が原案とおり承認された。

議事2 平成16年度の総合的な調査結果について

- ・ 那覇空港の総合的な調査フロー<資料2-1>
- ・ 平成16年度の実施内容<資料2-2>
- ・ 平成16年度調査報告書の内容(大阪航空局)<資料2-3>
- ・ 平成16年度調査報告書の内容(沖縄総合事務局)<資料2-4>
- ・ 平成16年度調査報告書の内容(沖縄県)<資料2-5>

事務局より説明後、委員より調査内容等についての質疑が行われた。

県の望ましいサービス水準の検討で、「旅行の取りやめ率ゼロを目指す」は非現実的であるため、表現を改めるよう指摘がなされた。

議事3 平成17年度の総合的な調査実施内容の追加について<資料3>

事務局より資料説明後、委員より調査内容について質疑が行われ、調査内容の追加が了承された。

議事 4 那覇空港調査PI実施計画（案）について<資料 4 - 1、4 - 2>
事務局より資料説明後、委員よりPI実施計画についての質疑が行われ、PI実施計画（案）が了承された。

議事 5 那覇空港の総合的な調査PIステップ 1 について
<資料 5 - 1 ~ 5 - 3>
資料 5 - 3 中の「那覇空港の需要予測と見極め」は「那覇空港の需要予測と空港能力の見極め」に訂正する。

既存施設の拡張等の必要な整備については、ステップ 3 の終了を待たずに着手できることが解るような説明に改めることになった。

議事 6 那覇空港調査PI評価委員会について<資料 6 - 1、6 - 2>
事務局より資料説明後、質疑が行われ、PI評価委員会規約及びPI評価委員会委員の選任が了承された。

その他の確認事項

- ・ 県民の関心度を高める努力が必要なことが確認された。
- ・ 航空輸送について県民の理解を得るにあたり、県民と関わりの低い物流については、丁寧な説明にこころがける必要があることが確認された。

(4) 閉会

5 主な発言内容（順不同）

(1) 平成 16 年度の総合的な調査結果について（議事 2）

<施設や運用の改善による空港能力向上方策の検討（大阪航空局）>

（委員）滑走路の処理能力 23 ~ 38 回という範囲が設定された。夏場のピーク時に 11 ~ 13 時には 33 回に達するが、現在で処理能力の限界に達しているのか。

（事務局）処理能力というのは離着陸の回数、割合に応じて変わる。ピーク時だけを考えればかなり滑走路を一杯使っている。

<空港能力の考え方の整理（沖縄総合事務局）>

（委員）従来、専門家から見ると空港能力を考える場合の指標は、滑走路処理容量が基本的な数字になる。一方、県の調査報告でピーク時の予約の取りやすさや運航間隔等アンケート結果を踏まえた指標は、利用者にとって分かり易いかもしれない。しかし、総合事務局の検討では定量化出来ない指標については検討から除外することとなっている。

総合事務局の指標が将来の需要予測結果とともにPIステップ 2 で情報の共有を行う場合は、県のサービス指標が頭の中に入っている方もいると思われるので、指標の説明については工夫されたい。

<航空利用特性の分析と将来需要予測の検討（沖縄総合事務局）>

（委員）感度分析において何が一番効くのか。

（事務局）運賃を30%割り引いたら基本ケースに比べて需要が46.8%増加する等、基本ケースの1.5倍になるという意味で運賃の感度は良いとの印象を得た。バーゲン切符を出したある特定期間に観光客が伸びるというところからもある程度妥当と思う。

それに対して(4)の魅力度指標は全国一律の従業人口を用いているため沖縄の魅力度指標が表現出来ていない。観光の魅力を活かすモデル設定が今後の課題である。

（委員）貨物の需要予測をどのように行うのか。

（事務局）貨物の需要に関しては昨年度は基礎検討のみを行っており今年度より詳細に調査をしていく。

（委員）国際線旅客ターミナルの待合室が1.5倍になったが、未だ非常に問題になっている点があるのか。

（事務局）待合室が狭いというボトルネックは解消されたが、総体としての面積の不足やボーディングブリッジがないという点がある。国際線旅客ターミナルビルについては抜本的な手当が必要であるとの認識である。

<地域における空港の役割と効果、住民意識等の把握（沖縄県）>

（委員）望ましい航空サービス水準達成時の効果について、H15年度成果との相違点と再検討した理由は何か。また、ホテル容量の制約なども考慮して効果を検討したのか。

（事務局）望ましいサービスは、便の制約等もない理想の水準と現状の差額を定量的に算定した結果、最大で300億円を超える経済的な損失と分析した。昨年度の成果については、旅行取りやめとした人の中に季節を変えて沖縄旅行した可能性があるとの指摘を受け、再度、アンケート調査を行い、効果を再分析した。

また、ホテルの容量制約や航空会社の様々な要因を考慮し効果の定量化を行うことは困難である。あくまでも、理想に対する取りこぼしを出来るだけ少なくしていこうというアプローチで調査したものである。

（委員）旅行のとりやめ率0を目指すというのは非現実的である。取り止めに少なくする等少し表現を改めた方が良い。

(2)平成17年度の総合的な調査実施内容の追加について（議事3）

(委員) 地域における空港の役割と効果、住民意識等の把握を、もう一年延ばして調査するのはなぜか。

(事務局) 今年度の調査で、需要予測の結果を踏まえた空港能力の見極めが行われ、滑走路の増設が必要かどうかが見えてくる。このような検討と合わせた経済的な波及効果等の検討が必要だと考えたからである。

(3) 那覇空港の総合的な調査PIステップ1について(議事5)

(委員) 航空に対する依存度が沖縄の場合は他の地域より高くなっていることや、離島県の特性、生活の密着度が高いなどの沖縄の航空利用の特性が需要予測に反映されるのか。

(事務局) 既存のモデルでもある程度考慮できるモデルになっており、地域特性も十分配慮した需要予測を行っていくことを考えている。

(委員) ターミナル地域の将来展開検討範囲が示されているが、これから行う需要予測の結果次第で範囲が変わる可能性がある。ある程度見極めて範囲を示す必要があると考えるが、見極めの検討を行ったのか。

(事務局) 現時点では、あくまでも既存施設を有効活用する範囲として図示したものと理解していただきたい。

(委員) この既存施設の拡張や考え方は、滑走路の増設にかかる議論と切り離して、着手出来ることが解るような説明を工夫する必要がある。現状の説明では、既存施設の拡張や改良がステップ3まで終わらないと整備が出来ないように見られてしまう。

(事務局) 誤解が生じないように体裁を作っていく。

(委員) 資料 5-3 中の「那覇空港の需要予測と見極め」は「那覇空港の需要予測と空港能力の見極め」に訂正すること。

(4) 那覇空港調査PI評価委員会委員の選任について(議事6)

(委員) 那覇空港のPI委員会への出席、あるいは同委員会からの評価あるいは助言を踏まえた方針の決定については、幹事会に一任することとしたい。(全委員の了解が得られた)

(その他)

(委員) 今後のスケジュールについてききたい。

(事務局) 6月20日に開催するPI評価委員会において、那覇空港の調査レポートに関する評価・助言を得て見直しを行い、8月くらいにはステップ1の作業に入りたいと考えている。それに先だって新聞等による周知広報活動を行う予定である。

(委員) 同じ時期にPI活動を行う福岡の方は調査のやり直しということ

で市民の関心が高い。一方の那覇空港では、1月以前に実施されたアンケートの集計結果を見ると67%の方が那覇空港の総合的な調査の実施を知らない状況であった。可能な限り、県民の関心を高めるように努力していただきたい。

(委員) 航空輸送や機能について、県民の理解を得るチャンスである。旅客輸送に比べて貨物については一般県民が直接のユーザーになることもないので理解が深まりにくい。物流については、少し丁寧な説明をするように心がけてもらいたい。

(委員) P I レポートの詳細版と概要版の使い分けをどのようにするのか。

(事務局) 概要版で関心を持っていただき、次のステップとして詳細版を手にとって頂きたいと考えている。